

## 令和5年度第2回地球温暖化防止プロジェクト推進会議 議事概要

### 1 日 時

令和6年2月19日（月） 10:00～12:00

### 2 場 所

ピュアリティまきび 橋 及び オンライン（ZOOM）

### 3 出席者

別紙出席者名簿のとおり

### 4 傍聴者

なし

### 5 議事等

- (1) 議事1 地域脱炭素化促進事業における促進区域の設定基準（案）について  
資料1により、事務局から説明を行った。

【質疑応答なし】

- (2) 議事2 岡山県地球温暖化対策実行計画の進捗状況等

資料2及び資料3により、事務局から説明を行った。

【質疑応答なし】

- (3) 議事3 国の地球温暖化対策の動向

資料4により、環境省中国四国地方環境事務所地域脱炭素創生室から情報提供があった。

【質疑応答等】

(委員)

- ・重点対策加速化事業に岡山県が選定されているとのことだが、具体的な取組内容を教えてほしい。
- ・脱炭素先行地域以外の自治体が使えるお金は説明したものの中から選ぶということなのか。

(事務局)

- ・岡山県の重点対策加速化事業の内容については、事業者向けの太陽光発電設備の設置補助、市町村を通じた個人向けの太陽光発電設備の設置や省エネ住宅新築への補助、県有施設へのPPAによる太陽光発電設備の導入、県有施設への省エネ設備の導入であり、詳細はホームページで計画を公表しているので確認していただきたい。

(地方環境事務所)

- ・令和6年度に示したメニューを活用していただきたい。また、先行地域及び重点対策で得られた知見を生かして、令和7年度以降の事業に活かせるようにしていきたいと考えている。

(事務局)

- ・岡山県では県市町村脱炭素ネットワーク形成事業として、市町村同市の横のつながり強化を目的とした意見交換会等を実施する事業を予定している。

(委員)

- ・業務用建築物の脱炭素改修加速化事業について、公益財団法人は補助対象となるのか教えてほしい

(地方環境事務所)

- ・募集要項が公表されないと明確なことはお答えできないが、幅広い方に使っていただきたいものなので、対象であると考えられる。

(委員)

- ・2050年カーボンニュートラルを実現するために、イノベーションが必要だと考えるが、どのように考えているか。

(地方環境事務所)

- ・脱炭素先行地域の取組がイノベーションを目指す取組の1つであると考えている。知見を集め、政策に活かしていく。また、開発関係の事業に対しての補助メニューも用意している。GXの先行投資20兆円もイノベーションのための投資であり、脱炭素化が難しい重工業について世界的な流れもあり、イノベーションを起こしていかななくてはならないので、政府としても支援しているところである。

#### (4) 議事4 地球温暖化対策に関する取組等について

各委員から地球温暖化対策に関する取組や御意見について、御発言いただいた。

※オンライン出席の委員については、会場の音声の不調により、取りやめた。